



沖縄発「日本一早い桜の花」を高知龍馬空港へお届け

2019年1月18日

日本の桜前線のスタート地として知られる沖縄県本部町で第41回「もとぶ八重岳(やえだけ)桜まつり」が1月19日(土)から、2月3日(日)の期間に開催されます。

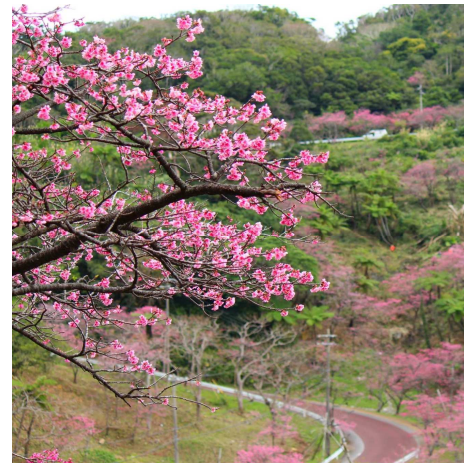
この時期の八重岳は、ふもとから山頂まで4kmの道両側に、約7,000本の琉球寒緋桜(りゅうきゅうかんひざくら)が咲き誇り、山のほぼ全体が、紅色の濃いピンク色に染まる大変華やかな景観が楽しめます。

JALグループは「もとぶ八重岳桜まつり」に協賛し、同町観光協会のご厚意で寄贈いただいた「琉球寒緋桜」の切り花を全国各地の空港に発送します。北は旭川・女満別から南は那覇まで、全国23空港のカウンターやラウンジにてこの切り花を展示します。高知龍馬空港においては、下記日時にて展示しますので、寒さの続く日々の中での“一足早い春の訪れ”をぜひお楽しみください。

1. 日時：2019年1月19日(土)～1月25日(金)頃
2. 設置場所：高知龍馬空港1階 日本航空カウンター前
※生花のため花の状態により展示できないこともあります。

(参考)

○「琉球寒緋桜」は中国南部・台湾などに分布しています。冬も温暖な沖縄では平地に比べて早く寒くなる北部の山頂から咲き始めるため「桜前線」は本土とは逆に南下します。



○展示空港：新千歳、丘珠、帯広、女満別、釧路、旭川、函館、青森、秋田、三沢、花巻、仙台、山形、小松、羽田、成田、名古屋(中部)、伊丹、関西、岡山、高知、福岡、那覇 計23空港のカウンター、またはラウンジに展示します。

以上